

## 新型コロナウイルスの感染予防対策について

コングレ・グローバルコミュニケーションズは、新型コロナウイルスの感染予防対策として、当面は遠隔での通訳業務を推奨します。

ウェブ会議に参加して行う逐次通訳業務や、遠隔同時通訳システム「interpreteX」(<https://www.congre-gc.co.jp/rsi/>)を使用した同時通訳など、様々な形での遠隔通訳が可能です。詳細はお問合せください。

遠隔通訳を行うことが難しく、会場に参集する対面式の通訳業務を行う場合は、以下をご一読いただき、感染予防にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

### 通訳者の感染予防対策

- 業務前に検温を行います。
- 業務前に手指の手洗い、消毒を済ませてから、会場に入室します。
- 業務中は（通訳中も）マスクやフェイスシールドを装着することをお許しください。
- 一度口をつけたペットボトルは持ち帰ります。
- 当面、ウイスピーング（耳元でささやく通訳）は原則として行わず、簡易同通機器を利用します。機器は事前に消毒してからお渡しします。



### 通訳環境について、お客様にご協力いただきたいこと

対面式で通訳を行う場合、その業務環境において、以下の対策をとられているか、業務日前日までに確認させていただきます。感染予防対策が不十分な場合は、対面式の業務をお引き受けできないことがあります。その場合は、遠隔での通訳業務をご提案します。

- 業務中は、最低でも1時間に1度は、「数分間、窓を開ける」等の十分な換気をお願いします。
- 参加者の皆さまは、全員マスクの装着をお願いします。
- 参加者の皆さまは、会場に入室される前に、検温と手指の手洗い、消毒をお願いします。
- 参加人数は最小限にとどめていただき、座席はソーシャルディスタンスを保った形で、配置してください。



発言者がマスクを装着していたり、換気をしている環境下では、発言者の発言音声聞き取りにくくなり、通訳に支障が出る場合があります。発言者にマイクをお使いいただいたり、簡易同通機器や集音機を活用するなど、通訳環境の改良にご協力ください。

同時通訳ブースは非常に密な空間です。お客様がお持ちの常設ブースを使用する場合、事前の消毒や換気、ソーシャルディスタンスが保てない環境では、通訳者間に飛沫防止アクリル板を設置いただくなど、対策をお願いします。当社が手配する仮設ブースの場合は、当方で対策を施した後、搬入します。

